

平成20年度当初予算主要事業説明

一般会計 (04)衛生費

No.	事業名	概要	H20 予算額	H19 予算額	所属名
1	救急医療対策費	休日・夜間などに、救急の医療を必要とする方に対して、応急の診察を行う。また、救急医療センターの整備について、広域的な利用などを勘案しながら検討を進める。	337,037	334,748	社会福祉課
2	妊産婦・乳幼児健康診査費	すこやかに子どもを生み育てるため、妊産婦及び乳児健康診査を医療機関に委託して実施する。 また、市内に住所を有する妊婦に対し妊娠届時に母子健康手帳等を交付する。 ・平成20年度から妊産婦健康診査の内容を拡大する。 妊産婦健康診査の健診回数の増加（4回→5回） 子宮頸がん検診・血液検査等の追加 ・従来の母子健康手帳を見直し拡充する。	157,470	127,895	保健所健康課
3	不妊治療費助成事業費	不妊に関する相談や適切な情報提供を行うと共に、体外受精・顕微授精による不妊治療を受けている夫婦に対して、医療費を助成する。 (1回15万円を限度に年度2回まで助成。)	42,058	45,046	保健所健康課
4	すこやか子育て支援事業費	「パパ・ママセミナー」「母親教室」「赤ちゃん教室」等、妊婦及び乳幼児等の各種健康教室・健康相談を実施する。 また、国の次世代育成支援対策の1つとして、生後2～3か月の乳児がいる家庭を訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」を富山市保健推進員連絡協議会に委託して実施する。訪問の結果により、必要な家庭には保健師が支援を行い、育児不安の軽減や虐待防止に努める。	3,010	2,321	保健所健康課
5	訪問指導事業費	健康診査後の特定保健指導対象外の有所見者及び虚弱・認知症高齢者等に対し訪問指導することにより、健康増進に努める。	2,349	2,709	保健所健康課
6	保健・医療・福祉ネットワーク事業費	保健・医療・福祉の相談会を77地区において実施する。 また、地区健康づくり推進会議を77地区で年2回実施し、地域ぐるみのネットワークづくりを推進する。	3,257	6,176	保健所健康課
7	健康診査事業費	心身の健康の保持・増進を図るため、各種検診を実施し、疾病の早期発見に努める。 肝炎ウイルス検診、歯周疾患検診、骨粗しょう症検診、女性の健康診査等を実施する。 医療制度改革により、基本健康診査は、特定健康診査へ移行	31,516	379,034	保健所健康課
8	がん検診事業費	各種がん検診(胃、肺、大腸、子宮、乳、前立腺がん)を実施し、がんについて正しい知識の普及を図ると共に、受診率の向上に努め、がん死亡の減少を図る。	501,604	482,129	保健所健康課

一般会計
(04)衛生費

No.	事業名	概 要	H 2 0 予算額	H 1 9 予算額	所属名
9	脳卒中総合対策事業費	総合的な脳卒中对策を推進するための事業を実施する。 ・脳卒中総合対策検討委員会 ・脳卒中予防研修会 ・脳卒中地域連携パス研究会 ・脳卒中に関する調査研究 ・脳卒中患者等社会参加教室 など	834	4,010	保健所 健康課
10	健康づくり推進事業費	生涯を通じての健康づくりの普及・啓発を図る。 ・富山市健康プラン21推進事業 ・まちぐるみ健康づくり推進事業 ・禁煙支援セミナー ・まちぐるみ禁煙支援事業 ・個別禁煙相談・禁煙健康教室 ・地域健康づくり展	3,233	4,217	保健所 健康課
11	感染症事業費 (感染症予防事業費)	感染症患者が発生したときに防疫措置を実施し、感染症のまん延を防止する。 ・感染症患者発生時の調査、防疫措置 ・入院患者等の治療に係る費用の公費負担 ・感染症予防の正しい知識の普及啓発 ・給食従事者に対する検便の実施	13,851	14,188	保健所 保健予防課
12	予防接種費 (インフルエンザ予防接種費)	65歳以上の高齢者等に対するインフルエンザ予防接種を実施し、まん延及び重症化防止を図る。 ・対象者 65歳以上の高齢者等 99,000人 接種見込 49,500人(50%) ・実施方法 接種券を個人通知し医療機関で接種 ・接種費用 本人負担金1,200円 ただし、生活保護世帯及び市民税非課税世帯に属する者は、全額公費負担。	207,585	164,568	保健所 保健予防課
13	予防接種費 (麻しん風しん予防接種費)	幼児期の麻しん風しん予防接種に加え、平成20年度から国の「麻しん排除計画」を受けて、法に基づき13歳と18歳の年齢の者に麻しん風しん予防接種を行い、発生及びまん延を防止する。 ・対象者 第1期 生後12月～24月未満 第2期 5歳以上7歳未満の者で、小学校就学の始期に達する日の1年前から小学校就学の始期に達する前日まで 第3期 中学校1年生の年齢に相当する者 第4期 高校3年生の年齢に相当する者 ・実施方法 接種券を個人通知し、医療機関で接種	101,451	76,193	保健所 衛生検査課
14	エイズ対策費	エイズとクラミジア等の性感染症に関する正しい知識の普及啓発のために、高校等で健康教育を開催するとともに地域においてキャンペーンを実施する。また、HIVとクラミジアの抗体検査を匿名で実施する。 ・HIV抗体検査希望者見込 250人(内部検査) ・クラミジア抗体検査希望者見込 180人(委託検査)	1,685	1,883	保健所 保健予防課
15	口腔衛生予防対策費	乳幼児のむし歯予防、妊婦歯科健診、成人の歯周病予防指導等を実施して歯の健康づくりを推進する。 ・むし歯・歯周病等予防事業 2,163千円 よい歯づくり講座 フッ化物塗布 健康教育 ・妊婦歯科健康診査事業 4,356千円 歯科医師会に委託し、妊婦に歯科健診を実施	6,519	6,768	保健所 健康課

一般会計
(04)衛生費

No.	事業名	概要	H20 予算額	H19 予算額	所属名
16	結核対策費 (結核予防費)	結核の予防啓発、効果的な検診の促進、結核患者に対する服薬指導等、総合的な結核予防対策を推進する。 ・正しい知識の普及啓発 ・私立学校等の設置者等が実施する結核の定期健康診断に対する補助 ・結核検診 ・結核研修所医師研修 ・結核患者に対するDOTS(直接服薬確認療法)の推進	6,074	5,711	保健所 保健予防課
17	結核対策費 (結核接触者健康診断費)	結核患者の家族等、感染の可能性が高い者に対する二次感染防止のための健康診断について、新たにQFT検査法を導入し、診断精度の向上と経過観察期間の短縮を図る。また再発防止のため、結核登録患者に対して精密検査を実施する。	2,783	1,860	保健所 保健予防課
18	精神保健相談指導事業費	精神障害者の早期治療の促進並びに社会復帰を支援するため、相談及び訪問指導等を行う。なお、対応困難事例については、嘱託医(精神科医)の助言に基づき対処していく。また、近年、社会問題化している「うつ病」や「ひきこもり」について、家族教室の開催等を通して、家族等の支援に努める。	1,331	1,376	保健所 保健予防課
19	地域精神保健福祉対策促進事業費	精神障害者の自立と社会参加を促進するため、精神障害者やその家族を支援するとともに、市民の心の健康づくりを推進する。 自殺予防対策として、市民フォーラム等を開催する他、新たに相談員養成研修会や庁内連絡会議を開催し、自殺予防対策の充実を図る。	1,789	1,877	保健所 保健予防課
20	食品衛生監視指導費	食品衛生法に基づき、食品衛生に関する監視・指導を行い、飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止する。	9,533	10,544	保健所 衛生検査課
21	動物愛護管理事業費	動物愛護思想及び適正飼養について普及啓発を行うことにより、人と動物がふれあい、共生できる生活環境づくりをめざす。 ・動物愛護思想及び適正飼養の普及啓発 ・犬・猫の引き取り、負傷動物の収容業務 ・野猫の避妊、去勢手術費用の助成	3,489	3,685	保健所 衛生検査課
22	試験検査機能強化費	市民の健康保持・増進を図るため、地域における専門的かつ技術的な拠点として、保健所における試験検査機能を年次的、計画的に強化する。 ・試験検査施設の増築 ・ノロウイルス検査 ・食品の残留農薬の一斉分析 ・細菌の遺伝子解析	745,213	315,950	保健所 衛生検査課
23	エコタウン推進事業費	環境にやさしい循環型のまちを目指し、省資源・省エネルギー・リサイクルなどによる資源循環型社会を築くため、「富山市エコタウンプラン」を推進する。 ・エコタウン推進事業費 ・エコタウン交流推進センター管理運営事業費	33,367	31,196	環境政策課

一般会計
(04)衛生費

No.	事業名	概要	H20 予算額	H19 予算額	所属名
24	(新規事業) 環境保全事務費 (温室効果ガス排出 量算定調査事業)	地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出量を推計、分 析・評価する。	2,500		環境政策課
25	(新規事業) 環境保全事務費 (「チーム富山市」 推進事業)	市民・事業者・行政が協働して地球温暖化防止の取り組みを 実践し、その取り組みの輪を広げる「チーム富山市」事業を 展開する。	10,000		環境政策課
26	太陽光発電導入事業 費 (太陽光発電システ ム設置補助事業)	太陽光を利用したクリーンエネルギーの導入を促進するた め、住宅用太陽光発電システムの設置者に対して助成する。 (1件5万円の補助)	2,500	2,000	環境政策課
27	(新規事業) エネルギー対策推進 事業費 (CNG(天然ガ ス)車導入事業)	新エネルギーの導入と省エネルギー対策を進めるため、庁用 車に環境負荷の低い天然ガス自動車(3台)を導入する。	12,717		環境政策課
28	(新規事業) エネルギー対策推進 事業費 (バイオマスタウン 推進事業)	平成18年度に策定した富山市バイオマスタウン構想に基づ き、バイオマスタウンの実現に向けた木質バイオマス利活用 について研究するとともに実証実験を行う。	3,200		環境政策課
29	市営墓地管理費 (既存墓地の適正管 理事業)	長岡墓地の園路舗装、墓地区画再提供用整備、無縁墓碑移設 等を行うとともに、無縁墳墓の確認調査を行う。	16,828	19,982	環境保全課
30	市営墓地管理費 (大山墓地公園墓地 増設事業)	40区画の墓地造成工事を行う。	18,000	5,060	大山 市民生活課
31	斎場管理費	富山市斎場及び北部斎場の施設改修並びに火葬炉等の維持管 理を行う。 今後、「斎場のあり方について検討する」こととしており、 その中で平成20年度は富山市斎場及び北部斎場において耐震 診断業務委託を実施する。 耐震診断業務委託 1,500千円 火葬炉修繕料等 6,915千円	8,415	17,330	環境保全課
32	環境保全事務費 (地下水保全対策事 業)	富山市地下水保全対策庁内連絡会議において、地下水の現況 調査、専門家からの意見聴取など地下水保全対策の検討を行 う。	4,200	500	環境保全課
33	環境保全事務費 (山小屋トイレ整 備・改良事業)	民間の山小屋事業者が行う環境に配慮した山小屋トイレの整 備・改良事業に対し、補助金を交付する。	1,000	1,000	環境保全課

一般会計
(04)衛生費

No.	事業名	概要	H20 予算額	H19 予算額	所属名
34	環境保全事務費 (自然環境保全事業)	立山山麓地域の動植物の生態、植生を調査するとともに、乱獲、破壊を防ぐ監視パトロールを実施し、自然環境の保全を図る。	5,000	5,000	環境保全課
35	環境保全事務費 (カラス対策事業)	カラスの捕獲対策を講じ、生息数調査を実施してカラス対策の効果を検証する。 ・カラス捕獲業務委託 6,000千円 ・カラス生息数調査業務委託 1,000千円	7,000	7,000	環境保全課
36	大気汚染対策費 (大気汚染常時監視事業)	大気汚染常時監視観測局で二酸化硫黄、二酸化窒素等を常時監視測定し、市民の健康の保護と生活環境を保全する。 ・一般環境大気観測局 6局 ・自動車排出ガス観測局 3局 ・その他観測局 1局	14,836	13,674	環境保全課
37	水質汚濁対策費 (水質環境基準監視事業)	河川、運河、湖沼、地下水の水素イオン濃度やカドミウムなどの環境基準項目を監視測定し、市民の健康の保護と生活環境を保全する。	7,992	7,351	環境保全課
38	ごみ減量化・資源化 推進事業費 (生ごみリサイクル モデル事業)	脱焼却・脱埋立による循環型まちづくりを目指し、「燃やせるごみ」に含まれる「生ごみ」の減量化・資源化を推進するため、「生ごみのリサイクル処理」の有効性・合理性を引き続き検証する。 20年度は新たにモデル地区を2校区拡大する。 また、コストを圧縮するため、黄色いごみ袋に代え、生ごみ専用回収袋(BOX)を使用することで、カラス対策への有効性・実用性を併せて検証する。	9,226	6,487	環境センター 管理課
39	(新規事業) ごみ減量化・資源化 推進事業費 (可燃排出物リサイ クルモデル事業)	可燃粗大排出物を、エコタウン内の施設へ搬入し、固形燃料にリサイクルすることにより、ごみの減量化・資源化を図る。	1,000		環境センター 管理課
40	ごみ減量化・資源化 推進事業費 (集団回収活動推進 事業)	(集団回収) 再生利用が可能で、資源となる新聞、雑誌、段ボール、牛乳パック、布類、アルミ缶、スチール缶を自主回収する集団回収実施団体に対し、報償金を交付することにより、ごみ減量化・資源化を推進する。 (地区回収) 紙類地区回収モデル事業を実施し、紙類の回収を行政から地域団体へ移行することで、収集運搬等の行政コスト削減と、ごみ減量化意識の向上を図る。	65,741	54,439	環境センター 管理課
41	ごみ減量化・資源化 推進事業費 (生ごみ処理機器購 入補助金事業)	生ごみ処理機器の購入に必要な補助を行い、市民による生ごみの自家処理を推進し、ごみの減量と資源再利用の意識高揚を図る。	4,869	5,602	環境センター 管理課

